

泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への基準適合について 第10条（誤操作の防止）

（審査会合における指摘事項回答）

2023年1月10日
北海道電力株式会社

本資料中の [〇〇]（記載例：[10条-〇]）は、当該記載の
抜粋元として、まとめ資料のページ番号を示している。

【指摘事項】（2022年10月25日 第1085回審査会合）

先行プラントでは、中央制御室において、手すりの設置等により、地震発生時においても運転操作に影響を与えない設計としているが、泊3号炉では、地震発生時には主盤等のデスク部につかまることとしていることに関して、その設計方針が適合性の観点から適切であり、運転操作に影響を与えないことを説明すること。

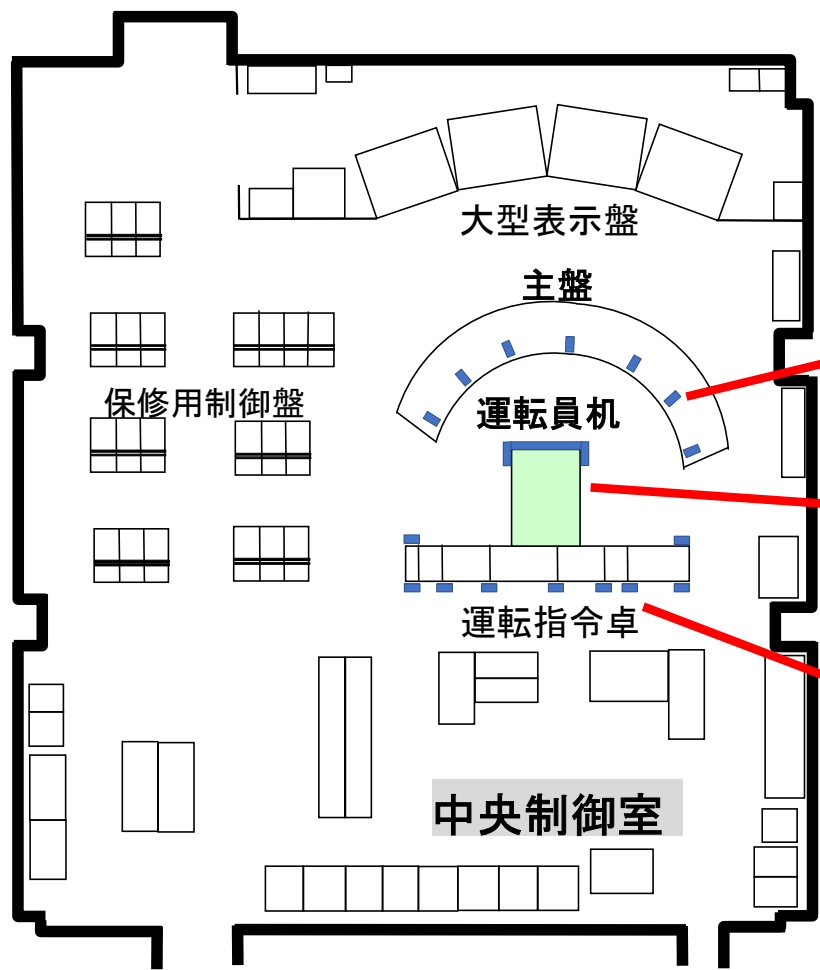
【回答】

- 泊3号炉において地震発生時に主盤等のデスク部につかまることとしていた設計方針を変更し、中央制御盤及び運転員机に手摺を設置することとする。
- 手摺を設置することにより、地震発生時における「操作器への誤接触防止」及び「運転員の安全確保」を確実に達成できる設計とする。
- 手摺の設置イメージを次頁に示す。

1. 審査会合指摘事項に対する回答

設置箇所

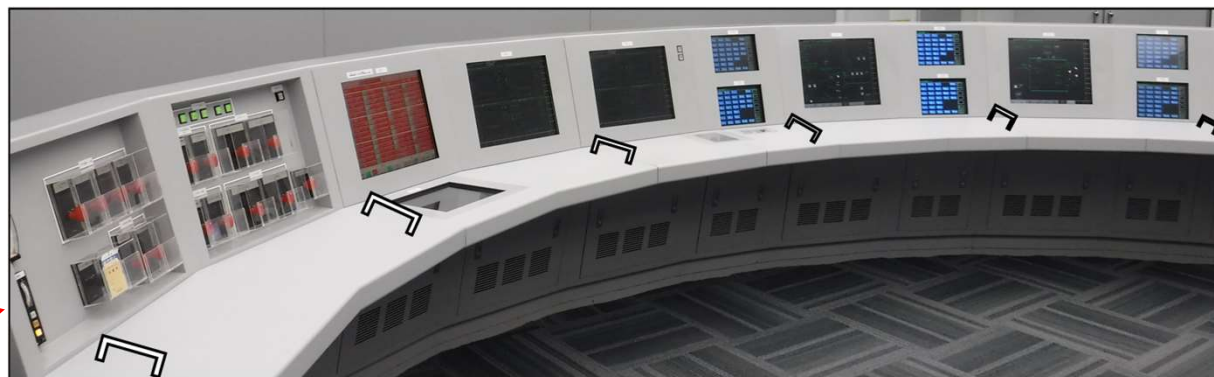
[10条-別添1-15]



■: 手摺設置箇所 (詳細設計により変更となる可能性あり)

設置イメージ

[10条-別添1-15]



主盤



運転指令卓



運転員机